

平成29年度

可茂衛生施設利用組合一般会計

歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書

可茂衛生施設利用組合監査委員

平成29年度可茂衛生施設利用組合一般会計 歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見

1. 審査の対象

- (1) 平成29年度可茂衛生施設利用組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成29年度可茂衛生施設利用組合基金の運用状況

2. 審査の日

平成30年8月21日

3. 審査の方法

決算審査にあたっては、管理者から提出された歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書を関係諸帳簿、証拠書類と照合するとともに、関係職員から説明を聴取し、定期監査及び例月出納検査の結果を参考にして、予算執行の適否、計数の適否、主要施策の実績等の諸点に留意して審査を実施した。

4. 審査結果

- (1) 審査に付された一般会計歳入歳出決算書及び証拠書類は、関係法令に準拠して作成され、計数は関係諸帳簿と符号し、かつ正確であると認められた。また、予算執行についても適正であると認められた。
- (2) 審査に付された基金の計数は正確であり、設置目的に則して、適正に運用されていると認められた。

審査の概要及び意見については、次に述べるとおりである。

※文中及び各表中の増減率、構成比などは原則として小数点を四捨五入している。このため、構成比の合計が100%にならない場合がある。

1. 総括

(1) 決算規模

一般会計の決算は次のとおりである。

(単位：円)

区分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
可茂衛生施設利用組合一般会計	3,375,832,000	3,404,183,176	3,281,433,167	122,750,009

平成29年度歳入歳出決算は、歳入決算額34億418万3,176円、歳出決算額は32億8,143万3,167円で、歳入歳出差引額は1億2,275万9円である。

前年度に比べ、歳入額で2億4,267万2,762円(7.7%)の増加であり、歳出額で2億9,901万9,479円(10.0%)の増加である。決算額の過去5年間の収支状況の推移は、次のとおりである。

(単位：円)

区分		平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
歳入総額	A	3,404,183,176	3,161,510,414	3,244,039,761	3,503,950,240	3,680,161,105
歳出総額	B	3,281,433,167	2,982,413,688	3,105,088,951	3,374,810,207	3,561,011,394
形式収支	C (A-B)	122,750,009	179,096,726	138,950,810	129,140,033	119,149,711
翌年度に繰越すべき財源	D	5,724,000	0	0	0	0
実質収支	E (C-D)	117,026,009	179,096,726	138,950,810	129,140,033	119,149,711
前年度実質収支	F	179,096,726	138,950,810	129,140,033	119,149,711	184,918,349
単年度収支	G (E-F)	△ 62,070,717	40,145,916	9,810,777	9,990,322	△ 65,768,638
基金積立金(財政調整基金)	H	484,257,132	135,555,970	125,664,102	67,897,795	112,356,021
繰上償還金	I	0	0	0	0	0
基金取崩額(財政調整基金)	J	116,626,000	98,781,000	99,832,000	90,345,000	82,914,000
実質単年度収支	K (G+H+I-J)	305,560,415	76,920,886	35,642,879	△ 12,456,883	△ 36,326,617
対前年比(歳入)	%	107.7	97.5	92.6	95.2	90.8
対前年比(歳出)	%	110.0	96.0	92.0	94.8	92.0

(2) 決算収支

一般会計の決算収支は、次のとおりである。

(単位：円)

歳入決算額	歳出決算額	形式収支額	翌年度繰越財源	実質収支額	前年度実質収支額	単年度収支額
A	B	C (A-B)	D	E (C-D)	F	G (E-F)
3,404,183,176	3,281,433,167	122,750,009	5,724,000	117,026,009	179,096,726	△ 62,070,717

一般会計における形式収支額は1億2,275万9円となっており、実質収支額は翌年度に繰り越す財源572万4,000円を差し引いた1億1,702万6,009円の黒字である。

なお、この実質収支額から前年度実質収支額を控除した単年度収支額は6,207万717円の赤字である。

2. 歳入

平成29年度歳入決算額は34億418万3,176円で予算現額33億7,583万2,000円に対し、2,835万1,176円の収入増となり、収入歩合は100.8%となっている。

歳入科目の各款についての概要は次のとおりである。

(単位：円・%)

区分	平成29年度		平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	収入済額	構成比	収入済額	構成比	収入済額	構成比	収入済額	構成比	収入済額	構成比
分担金及び負担金	2,522,360,000	74.1	2,547,658,000	80.6	2,643,821,000	81.5	2,836,585,000	80.9	3,086,757,000	83.9
使用料及び手数料	187,629,596	5.5	190,801,234	6.0	190,400,813	5.9	188,097,745	5.4	186,703,716	5.1
国庫支出金	0	0.0	104,020,000	3.3	92,642,000	2.8	170,493,000	4.9	59,010,000	1.6
財産収入	1,064,528	0.0	915,049	0.0	772,614	0.0	621,079	0.0	522,819	0.0
繰入金	116,626,000	3.4	98,781,000	3.1	99,832,000	3.1	90,345,000	2.6	82,914,000	2.2
繰越金	179,096,726	5.3	138,950,810	4.4	129,140,033	4.0	119,149,711	3.4	166,181,197	4.5
諸収入	89,006,326	2.6	80,384,321	2.6	87,431,301	2.7	98,658,705	2.8	98,072,373	2.7
組合債	308,400,000	9.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	3,404,183,176	100.0	3,161,510,414	100.0	3,244,039,761	100.0	3,503,950,240	100.0	3,680,161,105	100.0

【第1款】 分担金及び負担金 (構成比率 74.1%)

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入歩合	
					対予算	対調定
29	2,522,360,000	2,522,360,000	2,522,360,000	0	100.0	100.0
28	2,547,658,000	2,547,658,000	2,547,658,000	0	100.0	100.0
差	△ 25,298,000	△ 25,298,000	△ 25,298,000	0		

収入済額は、25億2,236万円となり、各費目別内訳では、議会・総務管理費1億7,147万6,000円、し尿処理費3億9,000円(美濃加茂市下水道脱水汚泥超過分特別負担金1,647万円含む)、可燃物処理費15億56万6,000円、不燃物処理費2億789万6,000円、公園管理費1,464万9,000円、研修館管理費5,384万9,000円、斎場管理費5,991万4,000円、公債費2億1,400万1,000円となっている。

収入済額は、前年度に比べ、2,529万8,000円(1.0%)の減少である。これは、可燃物処理費461万4,000円(0.3%)、不燃物処理費988万7,000円(5.0%)が増加となった一方で、議会・総務費181万2,000円(1.0%)、し尿処理費2,028万3,000円(6.3%)、公園管理費35万7,000円(2.4%)、研修館管理費201万2,000円(3.6%)、斎場管理費1,533万6,000円(20.4%)が減少となっている。

【第2款】 使用料及び手数料 (構成比率 5.5%)

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入歩合	
					対予算	対調定
29	171,769,000	187,629,596	187,629,596	0	109.2	100.0
28	173,051,000	190,801,234	190,801,234	0	110.3	100.0
差	△ 1,282,000	△ 3,171,638	△ 3,171,638	0		

収入済額は1億8,762万9,596円となり、各施設別の内訳では、し尿処理施設使用料1,422万4,998円、可燃物処理施設使用料1億3,515万4,286円、不燃物処理施設使用料565万3,312円、斎場使用料3,259万7,000円(火葬炉2,087万1,000円、小動物炉935万1,000円、部屋等237万5,000円)となっている。

収入済額は、前年度に比べ、317万1,638円(1.7%)の減少である。内訳は、し尿処理施設使用料9万9,229円(0.7%)、可燃物処理施設使用料72万4,934円(0.5%)、不燃物処理施設使用料188万4,475円(25.0%)、斎場使用料46万3,000円(1.4%)の減少となっている。

【第3款】 財産収入（構成比率 0.0%）

（単位：円・%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入歩合	
					対予算	対調定
29	757,000	1,064,528	1,064,528	0	140.6	100.0
28	757,000	915,049	915,049	0	120.9	100.0
差	0	149,479	149,479	0		

収入済額は、土地建物貸付収入30万4,122円、財政調整基金利子76万406円である。前年度に比べ14万9,479円（16.3%）の増加である。

【第4款】 繰入金（構成比率 3.4%）

（単位：円・%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入歩合	
					対予算	対調定
29	116,626,000	116,626,000	116,626,000	0	100.0	100.0
28	98,781,000	98,781,000	98,781,000	0	100.0	100.0
差	17,845,000	17,845,000	17,845,000	0		

収入済額は、前年度に比べ1,784万5,000円（18.1%）の増加である。

【第5款】 繰越金（構成比率 5.3%）

（単位：円・%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入歩合	
					対予算	対調定
29	179,096,000	179,096,726	179,096,726	0	100.0	100.0
28	138,950,000	138,950,810	138,950,810	0	100.0	100.0
差	40,146,000	40,145,916	40,145,916	0		

収入済額は、前年度に比べ4,014万5,916円（28.9%）の増加である。

【第6款】 諸収入（構成比率 2.6%）

（単位：円・%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入歩合	
					対予算	対調定
29	61,724,000	89,006,326	89,006,326	0	144.2	100.0
28	55,462,000	80,384,321	80,384,321	0	144.9	100.0
差	6,262,000	8,622,005	8,622,005	0		

収入済額は、前年度に比べ862万2,005円（10.7%）の増加である。

この増加の主な要因は、鉄類の売却単価増による売却益の増加である。

収入内訳	平成29年度	平成28年度	前年度対比	
○預金利子	139,270 円	257,625 円	△ 118,355 円	54.1 %
○雑入				
事業系可燃袋及び資源袋販売代金	43,115,955 円	42,510,060 円	605,895 円	101.4 %
資源売却代金（鉄類・アルミ類・ガラス）	17,028,393 円	8,228,283 円	8,800,110 円	206.9 %
その他（スラグ・メタル・売電等）	28,722,708 円	29,388,353 円	△ 665,645 円	97.7 %

【第7款】 組合債（構成比率 9.1%）

（単位：円・%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入歩合	
					対予算	対調定
29	323,500,000	308,400,000	308,400,000	0	95.3	100.0
28	0	0	0	0	0.0	0.0
差	323,500,000	308,400,000	308,400,000	0		

収入済額は、可燃ごみ処理施設長寿命化事業に係る起債である。

3. 歳出

予算現額33億7,583万2,000円に対して、支出済額は32億8,143万3,167円、不用額は9,439万8,833円となっており、支出済額の予算現額に対する執行率は97.2%である。

支出済額は、前年度に比べ2億9,901万9,479円（10.0%）の増加である。

（単位：円、%）

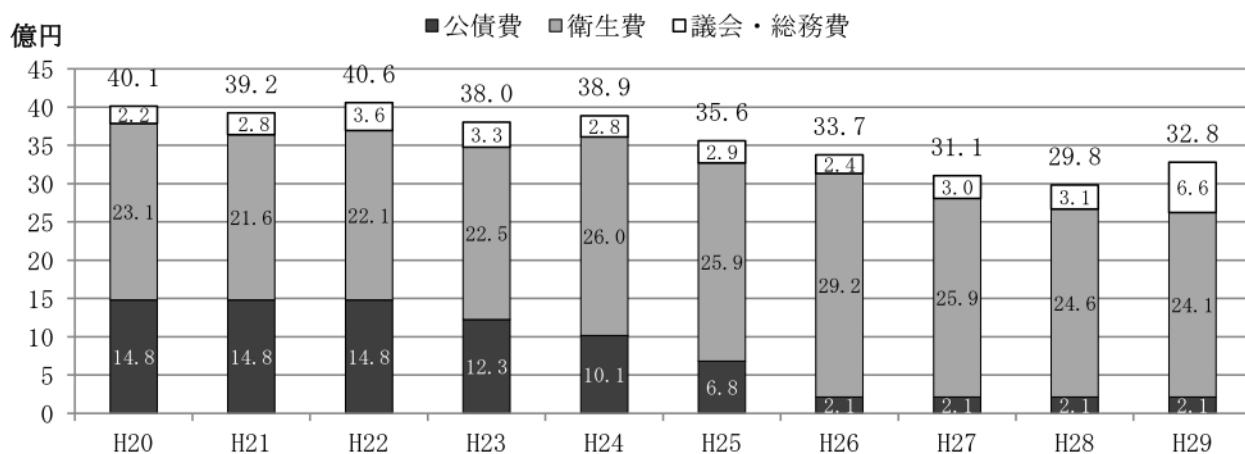
区分	予算現額	支出済額	不用額	予算執行率
平成29年度	3,375,832,000	3,281,433,167	94,398,833	97.2
平成28年度	3,118,679,000	2,982,413,688	136,265,312	95.6
比較増減	257,153,000	299,019,479	△41,866,479	

款別決算額及び前年度との比較は次のとおりである。

（単位：円、%）

款別	平成29年度		平成28年度		前年度対比	
	支出済額（A）	構成比	支出済額（B）	構成比	（A）－（B）	率
議会費	68,082	0.0	58,382	0.0	9,700	116.6
総務費	657,159,192	20.0	313,081,046	10.5	344,078,146	209.9
衛生費	2,410,206,345	73.5	2,455,274,712	82.3	△45,068,367	98.2
公債費	213,999,548	6.5	213,999,548	7.2	0	100.0
予備費	0	0.0	0	0.0	0	-
合計	3,281,433,167	100.0	2,982,413,688	100.0	299,019,479	110.0

平成20年度以降の各款別歳出決算額の推移は次のとおりである。



決算額全体としては、平成25年度以降減少傾向である。

平成29年度については、款別で議会・総務費が増加していることにより前年度と比較して増加となっている。これは分担金の余剰分を新火葬場整備運営事業に係る建設一時金の財源として財政調整基金に積み立てたことによる増加である。衛生費は、支出額の縮減により減少となっている。公債費は、平成30年度までの汚泥再生処理施設の償還分となっている。

【第1款】 議会費（構成比率 0.0%）

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算執行率
29	94,000	68,082	0	25,918	72.4
28	94,000	58,382	0	35,618	62.1
差	0	9,700	0	△ 9,700	

議会費は、定例会2回、臨時会1回分の議員報酬及び事務費の支出である。

【第2款】 総務費（構成比率 20.0%）

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算執行率
29	676,672,000	657,159,192	0	19,512,808	97.1
28	315,234,000	313,081,046	0	2,152,954	99.3
差	361,438,000	344,078,146	0	17,359,854	

支出済額は前年度に比べ、3億4,407万8,146円（209.9%）の増加である。

増加の主な要因は、積立金3億4,870万1,162円の増額によるものである。

節別の前年度比較は次のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	平成29年度		平成28年度		増減額 (A) - (B)	前年度 対比
	支出済額 (A)	構成比	支出済額 (B)	構成比		
人 件 費	146,001,379	22.2	152,094,765	48.6	△ 6,093,386	96.0
需 用 費	4,514,905	0.7	4,335,549	1.4	179,356	104.1
役 務 費	2,139,901	0.3	2,322,130	0.7	△ 182,229	92.2
委 託 料	11,603,871	1.8	10,362,384	3.3	1,241,487	112.0
使 用 料 及 び 賃 借 料	5,097,759	0.8	5,196,796	1.7	△ 99,037	98.1
備 品 購 入 費	945,000	0.1	756,772	0.2	188,228	124.9
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	2,176,291	0.3	2,197,695	0.7	△ 21,404	99.0
積 立 金	484,257,132	73.7	135,555,970	43.3	348,701,162	357.2
その他(報償、旅費、交際、公課)	422,954	0.1	258,985	0.1	163,969	163.3
合 計	657,159,192	100.0	313,081,046	100.0	344,078,146	209.9

【第3款】 衛生費（構成比率 73.5%）

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算執行率
29	2,481,065,000	2,410,206,345	5,724,000	65,134,655	97.1
28	2,585,351,000	2,455,274,712	0	130,076,288	95.0
差	△ 104,286,000	△ 45,068,367	5,724,000	△ 64,941,633	

支出済額は24億1,020万6,345円となり各費目別内訳では、し尿処理費3億1,753万1,497円、可燃物処理費17億871万2,099円、不燃物処理費2億2,065万6,486円、公園管理費1,394万1,439円、研修館管理費5,634万9,040円、斎場管理費9,301万5,784円、繰越明許費は新火葬場整備運営事業直接協定支援業務572万4,000円となっている。

支出済額は前年度に比べ、4,506万8,367円の減少である。目別では、し尿処理費993万1,865円（3.2%）、不燃物処理費627万7,149円（2.9%）が増加となっているが、可燃物処理費5,278万4,313円（3.0%）、公園管理費67万6,801円（4.6%）、研修館管理費109万6,848円（1.9%）、斎場管理費671万9,419円（6.7%）が減少となっている。減少の主な要因は、可燃物処理施設の工事請負費の減少によるものである。

節別の前年度比較は次のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	平成29年度		平成28年度		増減額 (A) - (B)	前年度 対比
	支出済額 (A)	構成比	支出済額 (B)	構成比		
人 件 費	119,329,041	5.0	111,427,257	4.5	7,901,784	107.1
需 用 費	309,097,508	12.8	299,727,202	12.2	9,370,306	103.1
役 務 費	11,641,383	0.5	11,638,064	0.5	3,319	100.0
委 託 料	1,392,395,795	57.8	1,426,527,182	58.1	△ 34,131,387	97.6
使 用 料 及 び 賃 借 料	447,926	0.0	454,812	0.0	△ 6,886	98.5
工 事 請 負 費	531,133,200	22.0	580,486,560	23.7	△ 49,353,360	91.5
原 材 料 費	33,907,084	1.4	21,163,815	0.9	12,743,269	160.2
備 品 購 入 費	1,069,404	0.0	2,743,020	0.1	△ 1,673,616	39.0
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	10,971,804	0.5	895,200	0.0	10,076,604	1,225.6
その他(報償、旅費、交際、公課)	213,200	0.0	211,600	0.0	1,600	100.8
合 計	2,410,206,345	100.0	2,455,274,712	100.0	△ 45,068,367	98.2

上記のとおり、委託料は13億9,239万5,795円の決算額であり、構成比は57.8%と約6割を占めている。

前年度と比較すると4,506万8,367円（1.8%）の減少である。節別では、新たに可燃ごみ処理施設長寿命化工事用部材の購入による支出額の増加、新火葬場関連事業に係る美濃加茂市水道管布設整備等に伴う同市への負担金による支出額の増加となったものの、新火葬場整備運営事業に係る委託料の支出額の減少、可燃ごみ処理施設整備費減に伴う工事請負費の支出額の減少となり、全体では減少となったものである。

【第4款】 公債費（構成比率 6.5%）

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算執行率
29	216,001,000	213,999,548	0	2,001,452	99.1
28	216,000,000	213,999,548	0	2,000,452	99.1
差	1,000	0	0	1,000	

公債費の支出済額は前年度と同額の2億1,399万9,548円である。これは緑ヶ丘クリーンセンター償還分であり平成30年度まで続くものである。不用額については一時借入金利子分である。

平成29年度の発行高、償還額、年度末現在高は次のとおりである。

（単位：円）

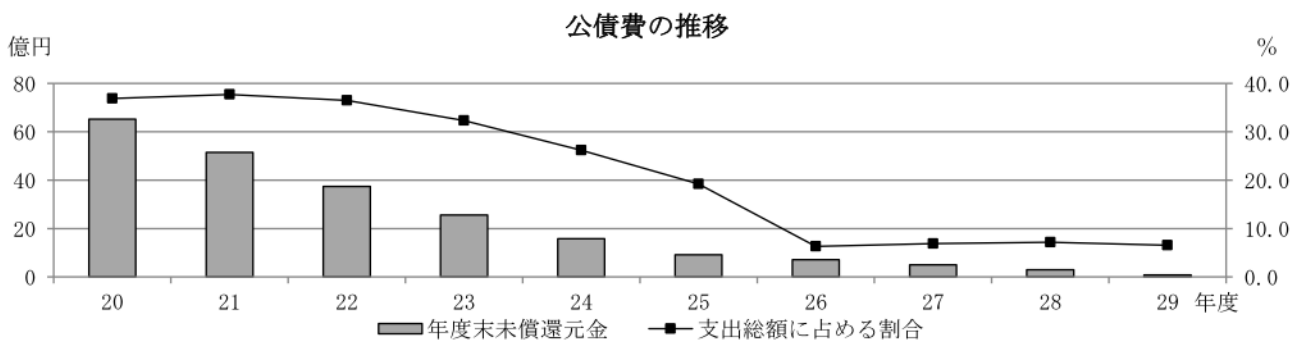
平成28年度末現在高 (A)	平成29年度中発行高 (B)	平成29年度中償還額		平成29年度末現在高 (A) + (B) - (C)
		元金 (C)	利子	
291,064,077	308,400,000	211,166,014	2,833,534	388,298,063

平成29年度中の発行高については、可燃ごみ処理施設長寿命化事業に係る起債である。

公債費の推移は次のとおりである。

（単位：円、%）

年度	決算額	（うち償還元金）	決算額前年度対比	支出総額に占める割合	年度末未償還元金
29	213,999,548	211,166,014	0	6.5%	79,898,063
28	213,999,548	209,006,807	0	7.2%	291,064,077
27	213,999,548	206,872,374	0	6.9%	500,070,884
26	213,999,548	204,762,404	△ 469,289,547	6.3%	706,943,258
25	683,289,095	666,727,228	△ 331,296,967	19.2%	911,705,662
24	1,014,586,062	984,297,961	△ 213,004,406	26.2%	1,578,432,890
23	1,227,590,468	1,178,007,034	△ 252,457,740	32.3%	2,562,730,851
22	1,480,048,208	1,402,846,701	0	36.5%	3,740,737,885
21	1,480,048,208	1,374,571,232	0	37.7%	5,143,584,586
20	1,480,048,208	1,346,968,048	0	36.9%	6,518,155,818



【第5款】 予備費（構成比率 0.0%）

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算執行率
29	2,000,000	0	0	2,000,000	0.0
28	2,000,000	0	0	2,000,000	0.0
差	0	0	0	0	

4. 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書については、その内容及び計数とも正確であった。
平成20年度から平成29年度までの実質収支額の推移は次のとおりである。

(単位：円、%)

年 度	実質収支額	前年度対比
29	117,026,009	65.3
28	179,096,726	128.9
27	138,950,810	107.6
26	129,140,033	108.4
25	119,149,711	64.4
24	184,918,349	157.9
23	117,110,240	62.2
22	188,352,659	145.5
21	129,454,467	87.8
20	147,403,633	102.9

5. 財産に関する調書

公有財産、物品及び基金に関する平成29年度中における増減及び平成29年度末現在高は次のとおりである。

区 分		単位	28年度末現在高	29年度中増減	29年度末現在高
公 有 財 産	土 地	m ²	361,112.25	0	361,112.25
	建 物	m ²	37,112.16	0	37,112.16
	出資による権利	円	3,000,000	0	3,000,000
物品（公用車など）		台	40	1	41
基 金	財 政 調 整 基 金	円	459,768,997	367,631,132	827,400,129

公有財産では物品のうち、軽貨物車を1台購入した増加である。

財政調整基金の平成29年度中の増加は前年度繰越金のうち平成29年度当初予算計上額を除いた4億8,349万6,726円及び利子76万406円を積立て、各運営費への充当分として1億1,662万6,000円を取崩したものである。

6. 審査意見

以上が、平成29年度一般会計歳入歳出決算審査の概要である。

歳入については、組合単独事業である可燃ごみ処理施設長寿命化事業を交付税措置のある起債をしたことにより市町村の財政負担軽減に努めている。

歳出については、施設の安全安定稼働を基本としながらも、必要最小限の経費で効率的な施設管理がなされている。引き続き効率化を図るべく適正な支出に努められたい。

施設の意見として、ささゆりクリーンパークでは、今後も単独事業となる長寿命化工事を実施するにあたり、設計精査はもとより整備費の平準化を図るとともに起債の活用など計画的な事業の実施とされたい。

緑ヶ丘クリーンセンターでは、竣工から10年以上が経過しており、各設備の更新時期に差し掛かってきていることから、計画的な施設整備と維持管理に努められたい。

可茂聖苑では、PFIによる新火葬場施設整備事業が本格化するなか、平成31年4月の供用開始に向けて、確実な事業の履行に努められたい。

組合財政として、予算の約8割が市町村からの分担金であり、施設の管理運営費に充当される。

市町村としても財政事情が厳しい中での分担金となるため、組合としては分担金の削減が至上命題である。しかしながら、年々老朽化し維持経費が増加していく各施設を効率的に管理していくこともまた、組合としての使命である。

限られた財源の中で、施設管理の方法や新たな財源の確保など、職員一人ひとりが考え、管内市町村とさらなる連携を深め、効率的で持続性のある組合業務となることを期待する。